

## 新東名高速道路「(仮称)秦野SAスマートインターチェンジ」の取組状況



SA周辺のイメージ図

市内では、平成32年度中を開通目標に新東名高速道路の整備が進められており、秦野インターチェンジ(仮称)と秦野サービスエリア(仮称)が整備されます。また、現東名高速道路とのダブルネットワーク化により広域での交通利便性が飛躍的に向上することから、産業集積のポテンシャルが高まり、企業の成長や競争力を高める効果が期待されます。

市では、この新東名高速道路の開通と合わせて秦野サービスエリア(仮称)へのスマートインターチェンジの同時整備を目指して取り組んできました。こうした中、本年6月30日に国土交通省において、「(仮称) 秦野SAスマートインターチェンジ」の新規事業化が発表され、7月31日に連結許可を得ました。

### [ スマートICの概要 ]

- 新規採択：平成27年6月30日(国交省)
- 連結許可：平成27年7月31日(8/5発表)
- ※高速道路と市道とを連結して乗り降りを可能とするための国土交通大臣の許可
- 設置場所：秦野サービスエリア(仮称)  
(上り線) 戸川地内  
(下り線) 横野地内
- 整備時期：新東名高速道路と同時開通を目標(平成32年度)
- 運用形態：SA・PA接続型24時間運用  
一旦停止型フルインター形式  
(東京・静岡の両方向に出入り可能)
- 対応車種：ETC車載器を搭載した全車種  
(全長12m以下)

### ■秦野SAスマートICのアクセス方法



### ※スマートインターチェンジとは

高速道路本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りできるように設置されたインターチェンジで、ETCを搭載した車両に限定したインターチェンジです。

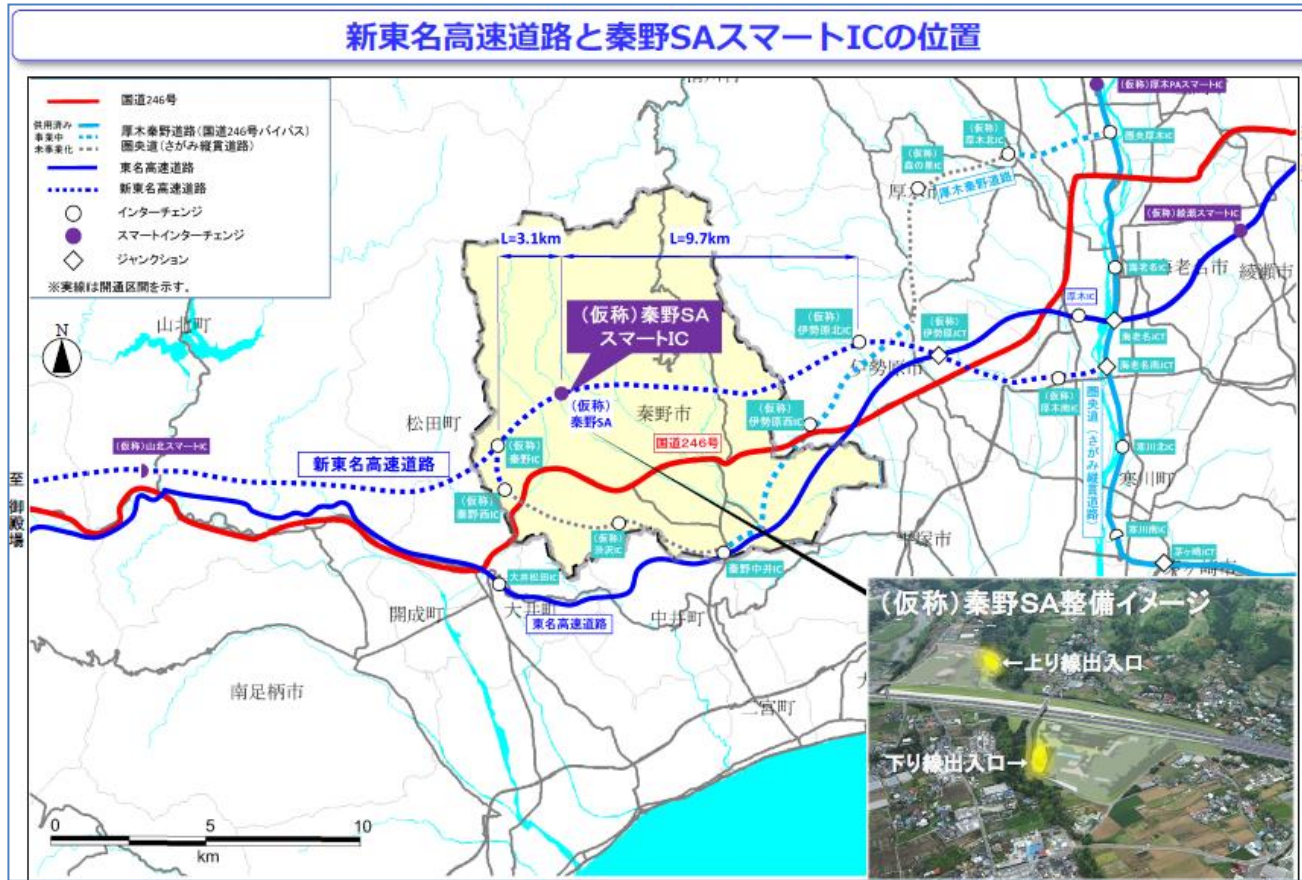
### ■ 地域へのアクセス強化が図られ、様々な効果を期待

[地域へのアクセス強化が図られ様々な効果を期待]

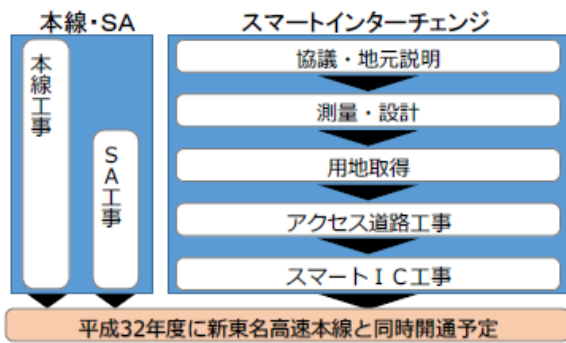
- ①産業基盤の強化  
既存工業団地等へのアクセスが向上し、物流の効率化によるポテンシャルの向上
- ②観光資源を活用した地域活性化  
丹沢大山国定公園、県立秦野戸川公園へのアクセスが向上し、入込み観光客の増加
- ③災害時の支援体制強化  
地域防災計画に位置づけた災害派遣部隊拠点までのアクセスが向上し、地域防災の強化
- ④救急・救命サービスの向上  
高度救急医療機関である東海大学付属病院までのアクセスが向上し搬送時間短縮が図られ、救命率の向上



## ■ 広域道路ネットワークの状況



## ■ 事業の進め方等について



### [ 今後の予定 ]

- 平成27年度～  
事業計画説明、アクセス道路の測量・設計
  - 平成28年度～  
用地交渉・用地取得
  - 平成29年度～  
アクセス道路及びスマートICの整備着手
  - 平成32年度開通 (新東名高速道路本線と同時開設)
- ※ スマートICの工事は、中日本高速道路(株)と調整し、サービスエリアの工事と一体的に進めます。

## ■ 地元・地域の意見を大切に進めます。

### 《各種懇談会等の実施》

- ◆自治会連合会、まちづくり委員会
- ◆新東名地元対策協議会
- ◆農商工連携連絡協議会(商工会議所・JA)
- ◆法人・経済団体懇談会
- ◆市政懇談会、広報活動など

